

## 奉仕者

自分にはどんな奉仕をすることが出来るか、考えたことを、つぎの空白に書いてください。

## 奉仕の役割

イエスさまの死後まもなく、弟子たちの集りによ

って教会が設立されました。しかし、弟子たちはま

だユダヤ教の枠内にとどまっていて、一般のユダヤ

人と同じく、エルサレムにある神殿に参っていました。

ペトロや他の使徒たちも、神殿を中心にして宣教

活動をしていました。

聖書の中には、イエスの弟子として、「十二人」や、

「使徒」や、「弟子」といった表現がみられます。こ

れらの言葉は、それぞれの含みをもって語られています。

十二使徒の役割については、ユダの代りに、マテ

アを選ぶにあたっての条件が、使徒言行録に伝えら

れています。

「主イエスがわたしたちと共に生活されていた間、

つまり、ヨハネの洗礼のときから始まって、わたした

ちを離れて天に上げられた日まで、いつも一緒にいた

者の中からだれか一人が、わたしたちに加わって、主

の復活の証人になるべきです。」

十二使徒の役割は、主の復活の証人として、祈り

と御言葉の奉仕に専念することなのです。

エルサレムにおけるキリスト教会にも、ギリシヤ

語を話すユダヤ人の数が増えるにつれて、いろいろと

問題が起こってきました。そこで、人々の食事の世話

をするために、ステファノたち七人が選ばれました。

教会が大きくなればなるほど、それぞれ分担して

奉仕することの必要性がでてくるのです。それぞれ

自分の奉仕する場がどこであるかを考え、それぞれ

の場で自分たちの役割を果たしていきましょう。

